



函館支社 ☎0138
 報道 32-5112
 FAX 32-5119
 販売 32-5134
 広告 32-5123
 事業 32-5130

函館市五稜郭町31番
 〒040・8688

購読お申し込みも、配達先の変更も

☎0120-464-104

北海道新聞 道新スポーツ

海洋生態学の権威 北大で講演

世界の漁獲量減少の一途

海洋生態学の世界的権威でカナダのアリティッシュ・コロンビア大水産学センター教授のダニエル・ポリー氏が7日、「世界の水産の現状と将来」をテーマに北大水産学部で講演し、漁業資源の減少に警鐘を鳴らした。

ポリー氏は500編以上の科学論文や書籍を発表し、海洋生態系に及ぼす漁業の影響を指摘している。

ポリー氏は大学院生ら約150人を前に「北半球の工業国の乱獲が漁獲量の減少をもたらす、発展途上国の沿岸や南半球、南極にも影響を及ぼしている」と述べ、1980年代に最大であった漁獲量は減少の一途をたどっていると強調した。

また「先進国では発展途上国からの水産物の輸入増加などで危機の深刻さを市民に気づかせないようになっている」と語った。

自身が開発や発展に中心的な役割を果たした、3万種近い魚類の世界最大のデータベース「FishBase (フィッシュベース)」を紹介し「北大にもデータベースの充実に協力してほしい」と呼びかけた。(伊藤美穂)

海洋生態系に及ぼす漁業の影響について警鐘を鳴らすポリー氏



「輸入頼りの先進国 深刻さ気づかず」